

# エクストリームウィンターチャレンジ信州高山大会 2015

## 優勝チームコメント

TAC\_横綱 土肥啓介さん

ウィンターチャレンジに参加するのは今回で4回目になります。

初参加はボロボロ、今のコンビで初参戦の2回目も惨敗、3回目の去年も2位にはなったものの1位とは1時間程の差を付けられまだまだ頂上のハードルは高いな、と思いつつも密かに大穴優勝を意識して臨んだ今大会でした。

エクストリームシリーズにはグリーンシーズンも含め、新興勢力？TACの一員として参加していますが、相棒・鶴谷潤一郎君とは、パラグライダー、テレマークバックカントリーなどで元々25年以上の付き合い、息はピッタリ、走力はサッパリ。

最初から2チーム合同のチームチャレンジ、ペアを組んだのは常連の強豪、チームエノルフさん、スタートからダッシュ全開です。

普段からほぼ走らない(走れない?)我々はギブアップ寸前。後で聞いたところ「もうあれでリタイヤするかと思った。」とは鶴谷選手のコメント。私も全く同感、先は険しそうだ。

一番乗りの割に何故かのんびりCP1を後にし、順調にCP2を取った後は多少のトラブル(恥ずかしすぎるので割愛)があり、身内のTAC若者チームの猛追を受けながらもなんとかCP5に到着。少々疲れしました。

リフトで一息ついたCP6以降は徐々に調子を取り戻し、必死で上位3チームを追走しますが、毎回CP付近で追いつき、その後離されるという典型的な走力不足チームの苦しい展開。

ここは栄養補給だとばかり、取り出した鶴谷選手のパワーバーは極悪の天候でカチカチに凍結、「こんなもん食えるか！少しぐらい食べないほうが温泉での飯がうまいわ！」といったもの映画「八甲田山」ネタをひとり演じています。ヤバいです。

そんなこんなで今回の勝敗の分かれ道CP11へのアプローチを開始、例のごとく先行してる3チームが今回は苦戦している模様。

最初あいにくの天候のせいでヒントを見失ったかと思いつつも、高度計を頼りに少し登ると足元に微細な雪庇の様なもの！

「雪って意外と遥か下の要素を上まで拾うよな」と一言二言やりとりの後は長年のコンビ、ほぼ同じイメージを持った様子で即移動開始。あなたラッセル、わたし楽ちん2番手という順序までも。これを私は一方的に“あうんの呼吸”と呼んでいます。

そうして発見した雪に埋もれたCP11のなんと神々しい事。

ただ実状はCP12経由のゴールへの帰途、目前の他チームの姿に抜かれたと思って少しがっかりしながらのゴールインでした。

今回はたまたまコンディションが悪く、ほんの些細な運で優勝できましたが、今後はもう少し正統な勝負が出来るように精進していきたいと思います。ちなみに変な格好してますが、自衛隊関係者でもなんでもなく、ただの平和主義者コンビです。

最後にせっくなので我がTACの紹介を

昨年見事ゴールインした首脳陣、「週末(だけ?)キラキラ笑顔」の旦那トッシーと、アドベンチャーレース歴10数年を誇る奥方ヨッシーが主に会社関係者をネズミ講スタイルでリクルートした、高井・アドベンチャー・クラブの略です。笑

100km超レースの猛者から遠足レーサーまで幅広いですが、リーダーのキャラを反映したゆったり居心地のいい集団です。

いままでのところウィンターアドベンチャーの最大勢力をカメサングループと争う以外目立った印象を残せていませんでしたが、初のビッグタイトルをもたらす事が出来てとても光栄に思っています。

それではエクストレモや地元の関係者、レース出場者の皆様、TACのみんなお疲れ様でした。  
来年もこの楽しい大会を盛り上げていきましょう！